

令和 2 年 7 月豪雨の概要

令和 2 年 8 月 2 1 日
令和元年台風第19号等を踏まえた避難情報及び広域避難等に関する
サブワーキンググループ
(第 3 回)

内閣府（防災担当）

令和2年7月豪雨における予想雨量と解析雨量の比較

- 令和2年7月豪雨では、梅雨前線が長期間同じような場所に停滞し、暖かく湿った空気が流れ込み続けたため、広い範囲で大雨となった。
- 特に7月4日は、予測が難しい線状降水帯が未明から朝にかけて熊本県南部を中心に停滞し、予想を大きく超える大雨となった。断続的に猛烈な雨がもたらされ、4日4時50分に熊本県、鹿児島県の2県に大雨特別警報が発表された。

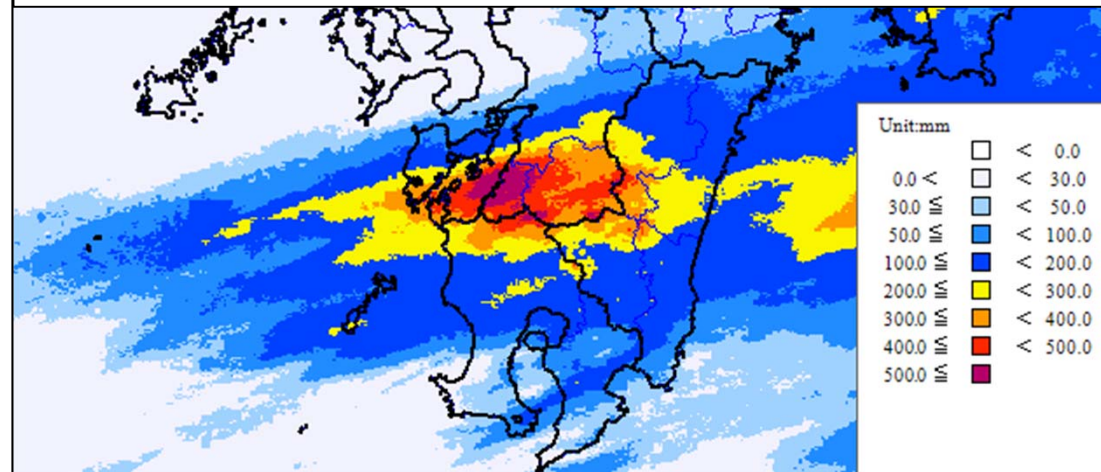
7/3夕方時点の予想雨量

7月3日18時から4日18時までの
24時間降水量（多いところ）

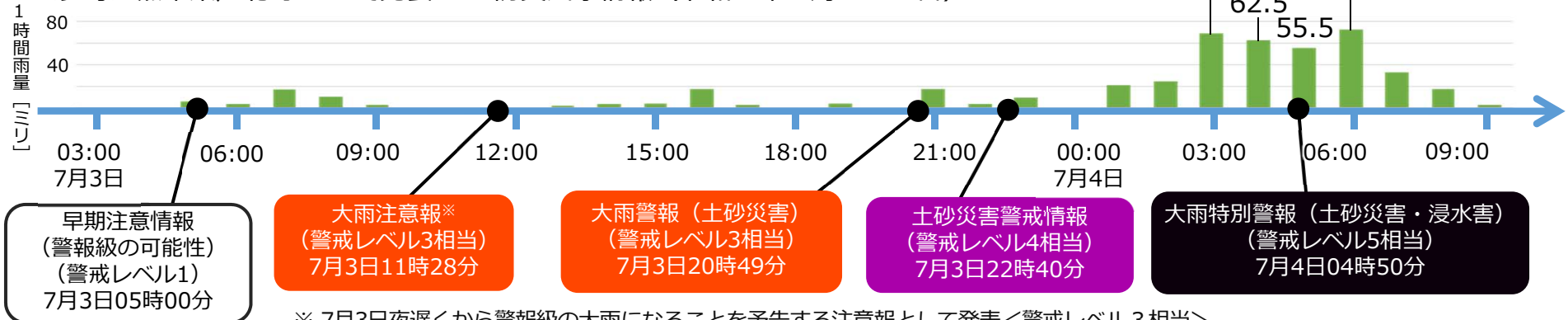
大分県	120ミリ
熊本県	200ミリ
鹿児島県	250ミリ
宮崎県	250ミリ

解析雨量（4日18時までの24時間積算降水量：各県の最大値）

大分県 約110ミリ（佐伯市）熊本県 **約700ミリ**（芦北町）
鹿児島県 **約600ミリ**（伊佐市）宮崎県 **約500ミリ**（小林市、西米良村）

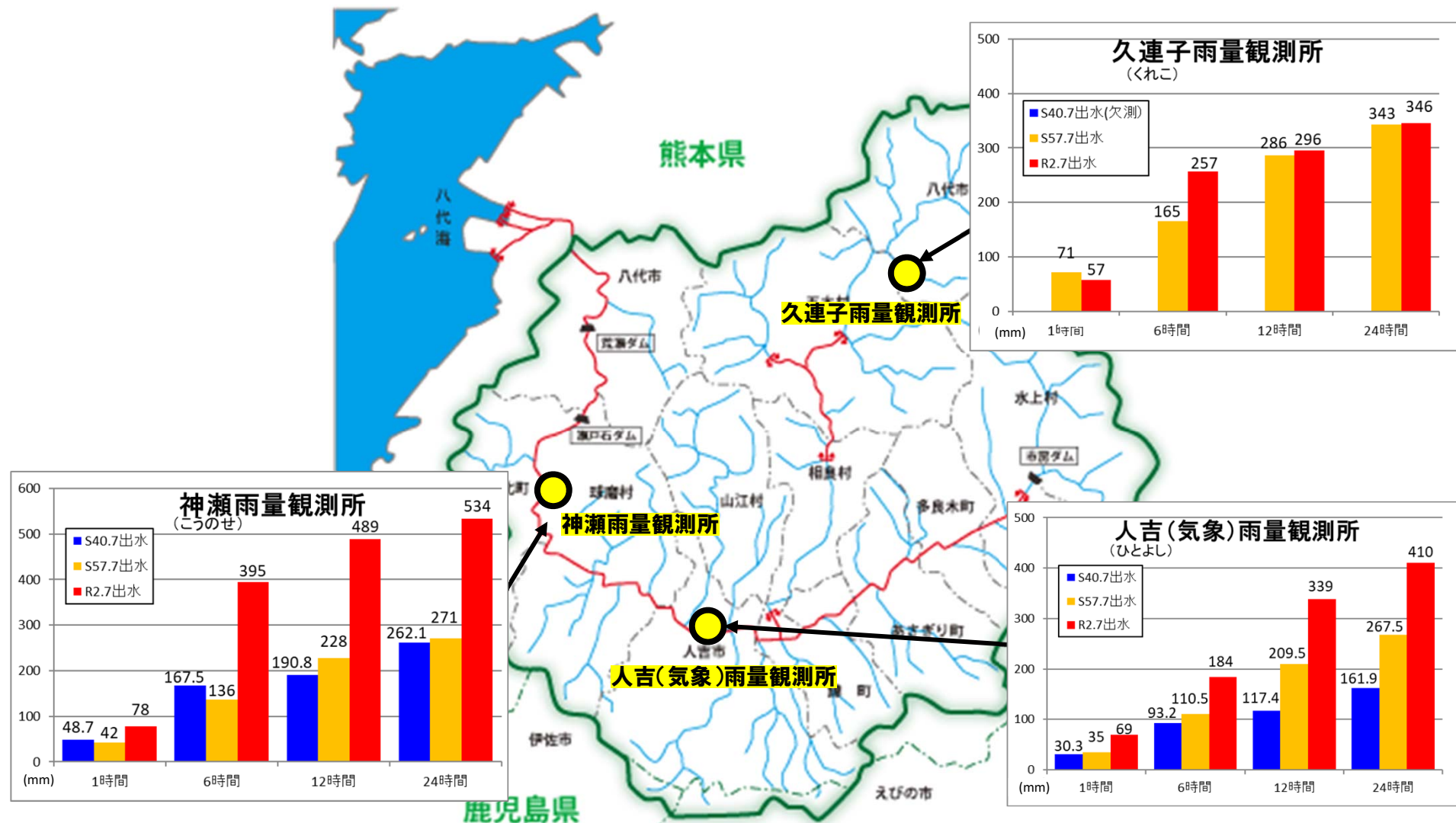


<参考> 熊本県芦北町において発表された防災気象情報（令和2年7月3～4日）



雨量の状況(球磨川流域)

○球磨川流域では、多くの雨量観測所において、戦後最大の洪水被害をもたらしたS40.7洪水やS57.7洪水を上回る雨量を観測し、複数の雨量観測所において、観測史上最多雨量を観測しています。



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

出典：国土交通省九州地方整備局 令和2年7月豪雨の概要と対応（第2報）令和2年7月10日

令和元年台風第19号による千曲川の水位状況との比較

球磨川

人吉水位観測所 (L62k)

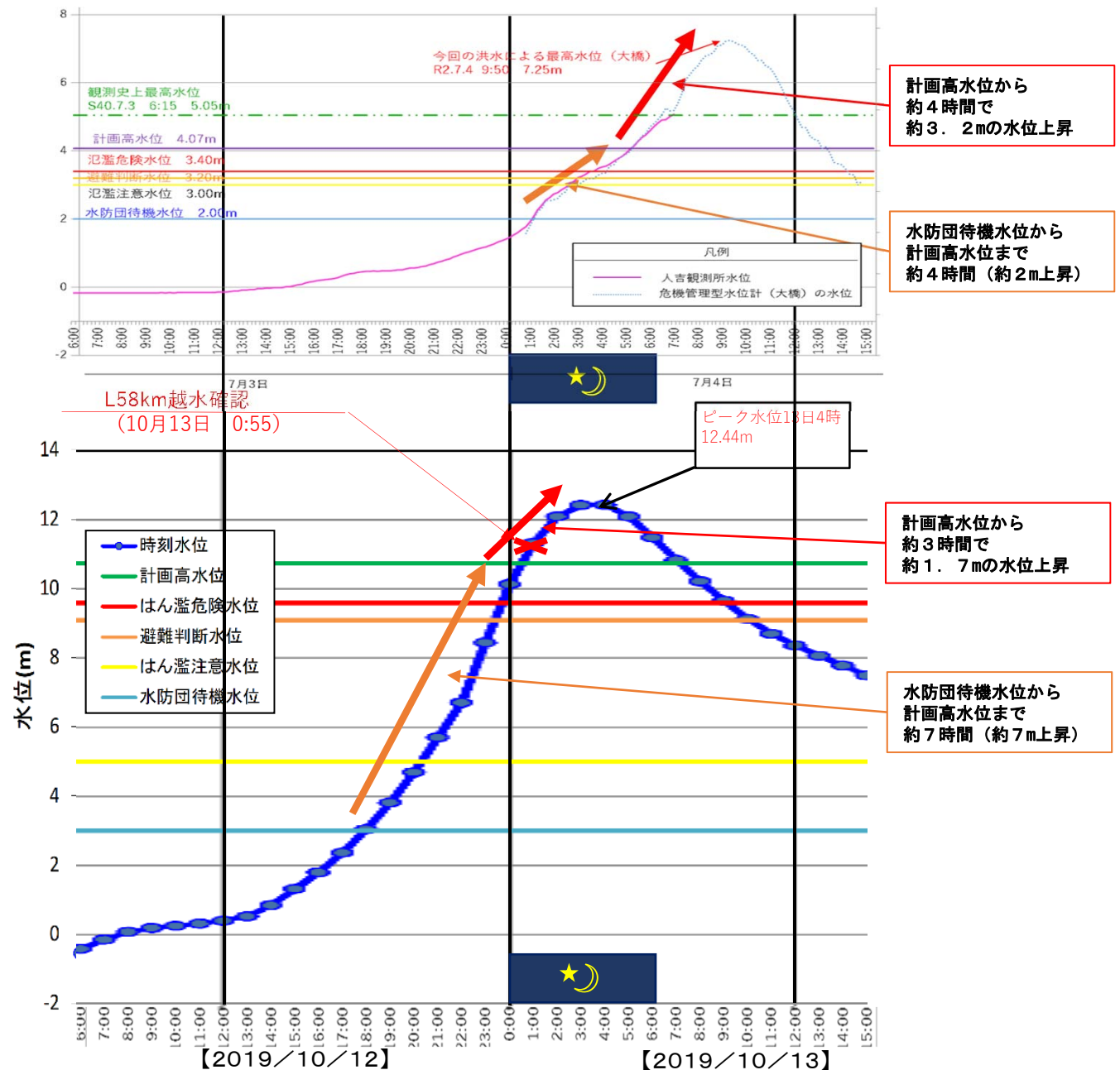
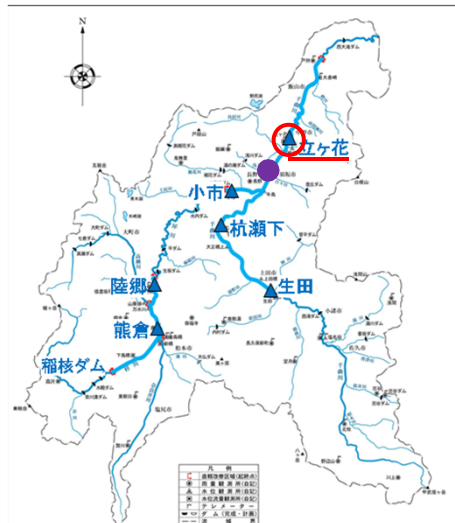
● : 決壊箇所L55.0k、R56.4k



千曲川

立ヶ花水観測所 (R51k)

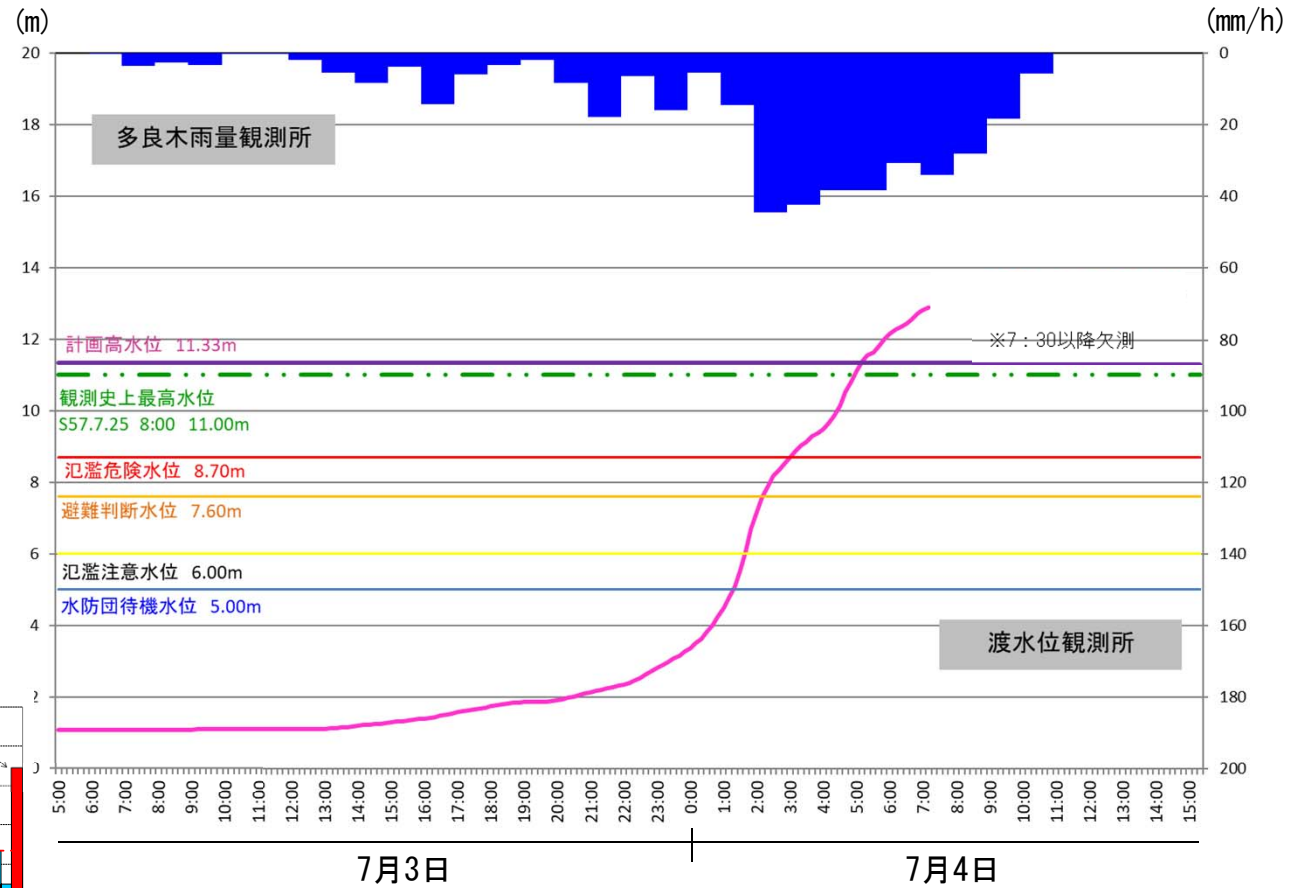
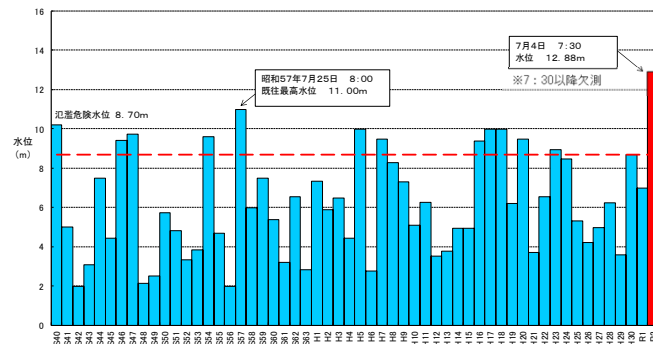
● : 主な決壊箇所L57.5k



水位の状況(球磨川:渡水位観測所)



球磨川(渡水位観測所)の年最高水位比較図

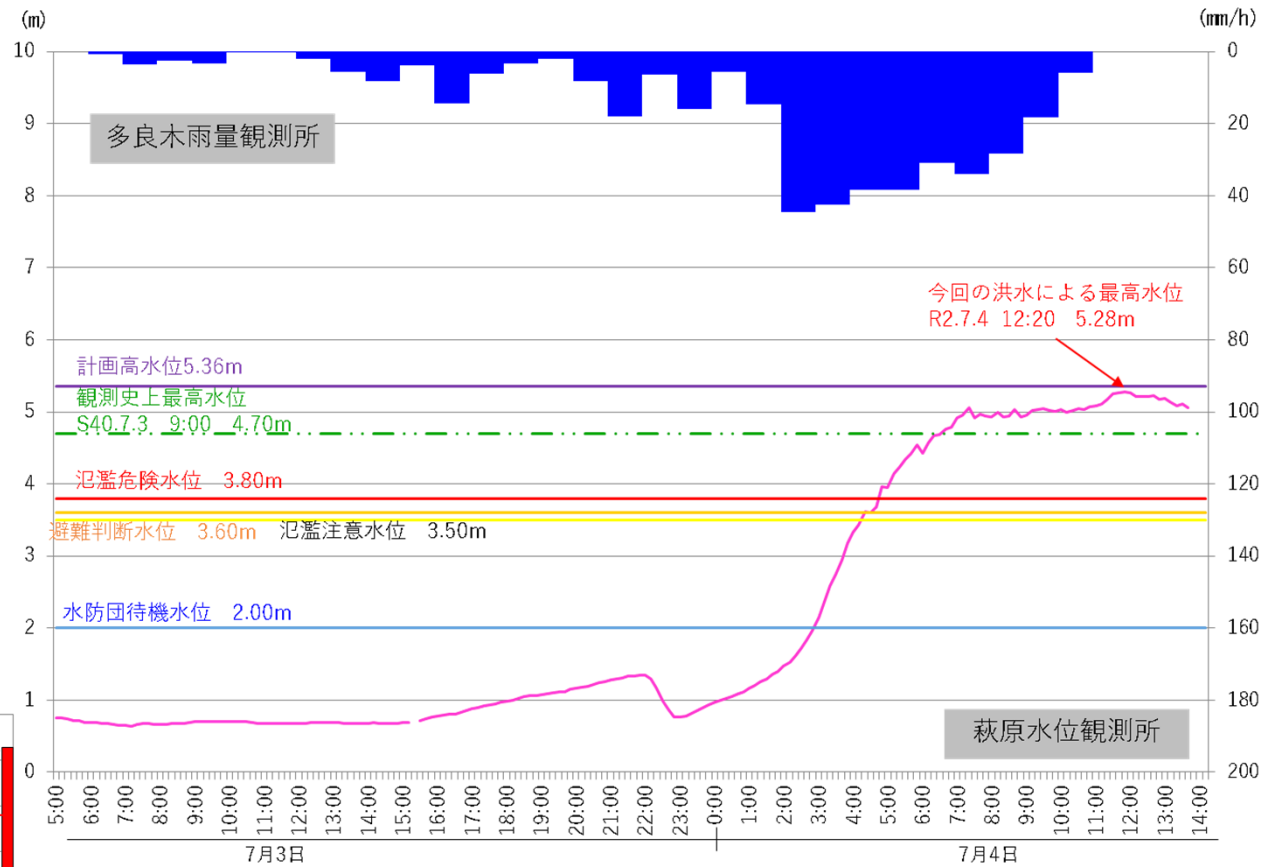
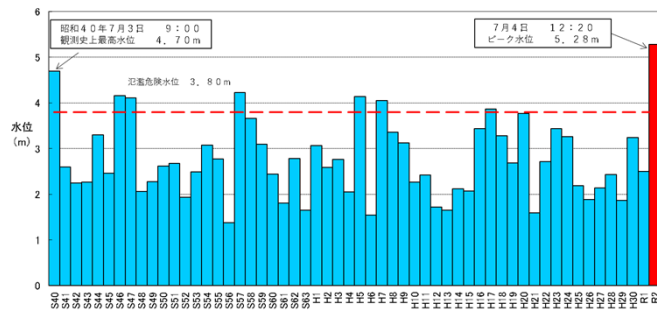


※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

水位の状況(球磨川:萩原水位観測所)



球磨川(萩原水位観測所)の年最高水位比較図



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

被災の状況(球磨川流域)

7月8日17:00時点 第2報にて資料追加

○球磨川水系球磨川(国管理)において、2箇所にて堤防決壊、3箇所にて越水、8箇所にて溢水し、浸水被害が発生していることを確認。また、橋梁13橋が流出(ヘリ調査等で確認できたもの)。詳細は現在調査中。

球磨川水系(熊本県)における浸水状況

※球磨川本川に架かる道路橋10橋、鉄道橋3橋、
その他支川に架かる道路橋4橋の計17橋の流出が確認されている。

被災状況



堤防決壊

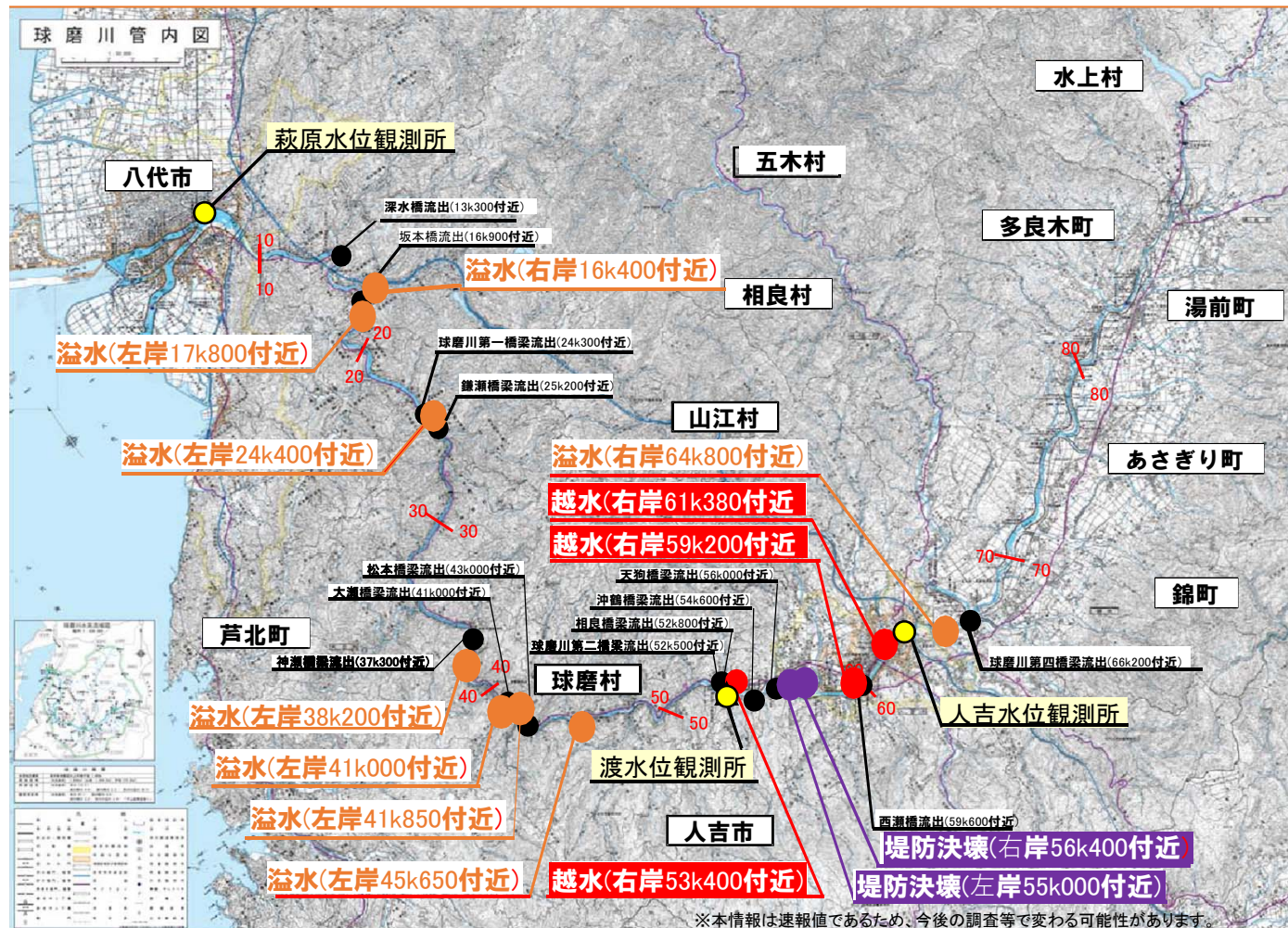


深水橋流出前

深水橋流出後



人吉市街部



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

出典：国土交通省九州地方整備局 令和2年7月豪雨の概要と対応(第2報)で内閣府で加工

避難情報の発令状況(人吉市)

情報伝達手段

- ・防災無線
- ・エリアメール
- ・登録型メール
- ・ホームページ
- ・フェイスブック
- ・町内会長へ直接連絡
- ・消防団積載車による広報巡回

		避難情報	防災気象情報
7月3日	21時00分		21:39 【警戒レベル3相当情報】大雨警報 21:50 【警戒レベル4相当情報】土砂災害警戒情報
	22時00分		22:52 【警戒レベル3相当情報】大雨・洪水警報
	23時00分	23:00 【警戒レベル4】避難勧告 (矢岳町、東間校区、大畑校区) 土砂災害警戒のため	
7月4日	0時00分		
	1時00分		
	2時00分		
	3時00分		3:10 【警戒レベル3相当情報】氾濫警戒情報 3:35 【警戒レベル4相当情報】氾濫危険情報
	4時00分	4:00 【警戒レベル4】避難勧告(全域) 洪水警戒のため	4:50 【警戒レベル5相当情報】大雨特別警報
	5時00分	5:15 【警戒レベル4】避難指示(緊急)(全域) 洪水・土砂災害警戒のため	5:55 【警戒レベル5相当情報】氾濫発生情報

避難情報の発令状況(球磨村)

情報伝達手段

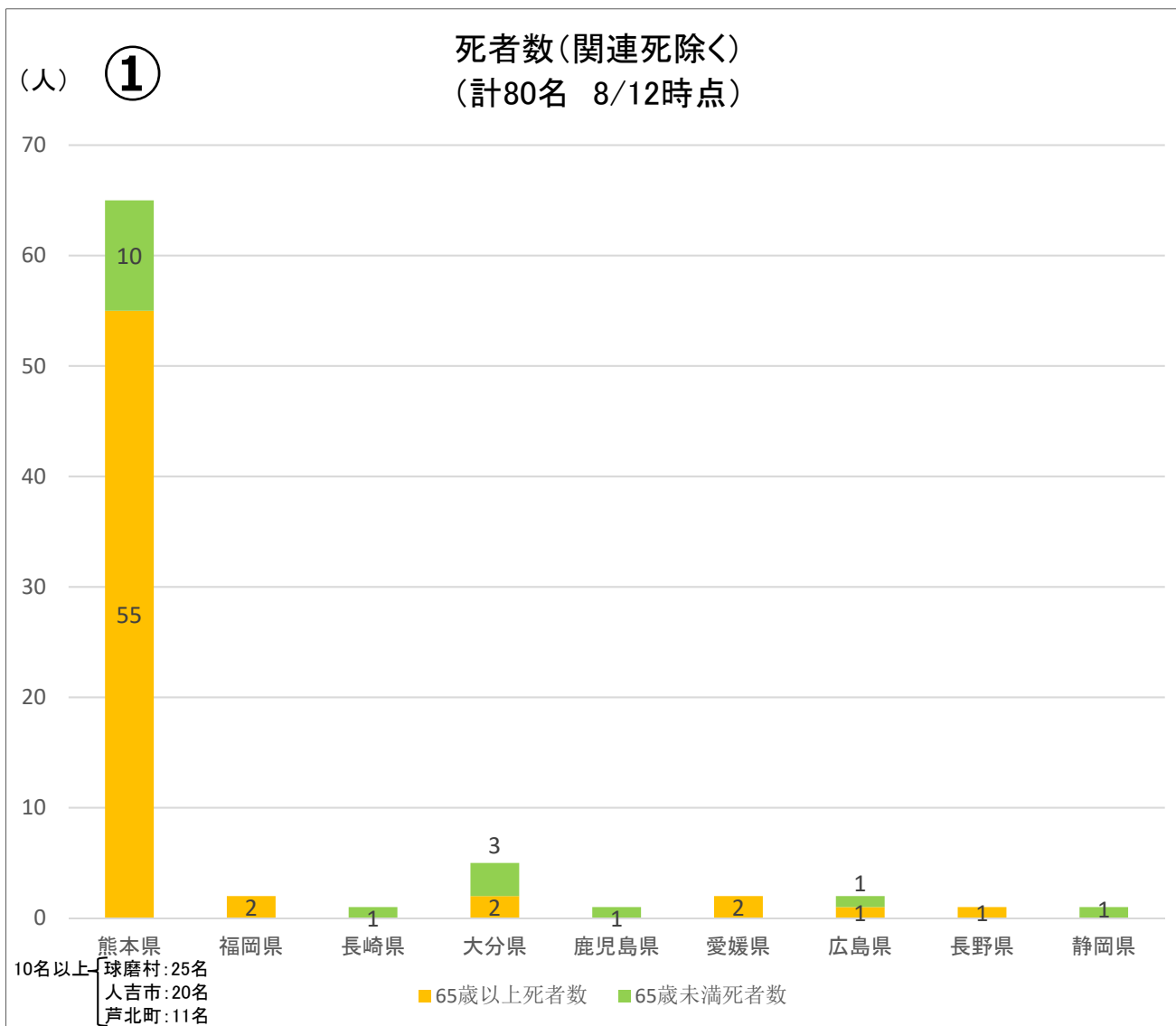
・防災無線 ・防災無線個別受信機（全世帯） ・エリアメール ・ホームページ ・LINE ・フェイスブック

		避難情報	防災気象情報
7月3日	17時00分	17:00 【警戒レベル3】避難準備・高齢者等避難開始（全域） 洪水・土砂災害警戒のため	
	18時00分		
	19時00分	大雨警報の発表見込み※が 夜間であったため	
	20時00分		
	21時00分		21:39 【警戒レベル3相当情報】大雨警報
	22時00分	22:20 【警戒レベル4】避難勧告（全域） 土砂災害警戒のため	22:20 【警戒レベル4相当情報】土砂災害警戒情報 22:52 【警戒レベル3相当情報】大雨・洪水警報
	23時00分		
7月4日	0時00分		
	1時00分		
	2時00分		
	3時00分	3:30 【警戒レベル4】避難指示（緊急）（全域） 洪水・土砂災害警戒のため	3:10 【警戒レベル3相当情報】氾濫警戒情報 3:35 【警戒レベル4相当情報】氾濫危険情報
	4時00分	水位雨量データから間もなく氾 濫危険情報が発表されると考え たため	4:50 【警戒レベル5相当情報】大雨特別警報
	5時00分		5:55 【警戒レベル5相当情報】氾濫発生情報

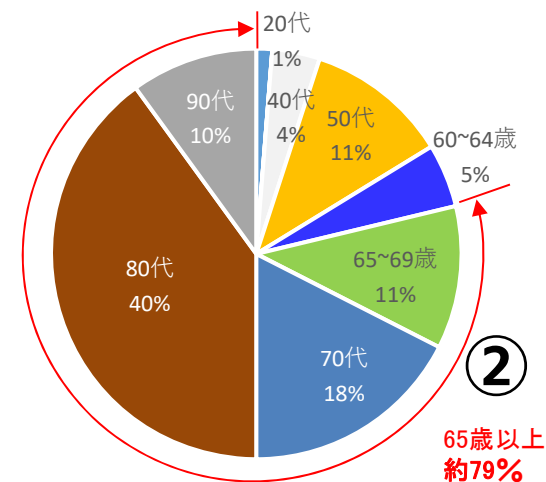
※気象台から情報提供

令和2年7月豪雨による被害の特徴

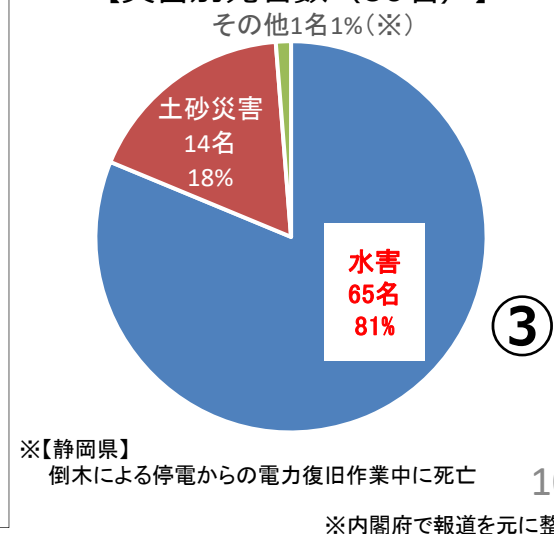
- ①令和2年7月豪雨による死者は80名(8月12日現在、災害関連死を除く。)
- ②65歳以上の高齢者が約79%(熊本県では、約85%)を占めた。
- ③約81%の方が水害で亡くなった。



【年代別死者数(80名)】



【災害別死者数(80名)】

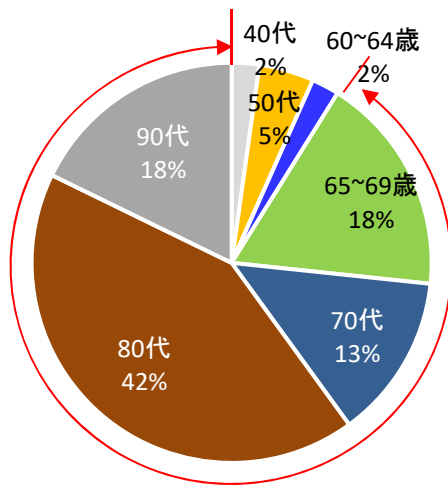


令和2年7月豪雨による被害の特徴(熊本県のみ)

- ①屋内で亡くなられた方が多い。(熊本県での死者65名の内、屋内:45名、屋外:20名)
- ②屋内でかつ高齢者の割合が高い。

①
屋内
(45名)

【年代別死者数(45名)】

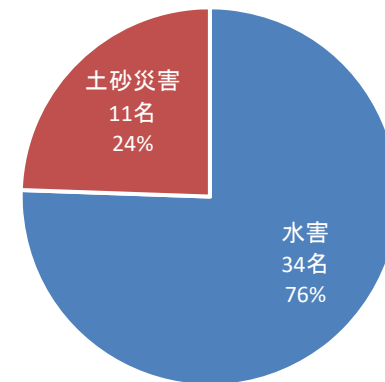


②

・屋内でかつ高齢者の
比率が非常に高い。

65歳以上の
割合約**91%**

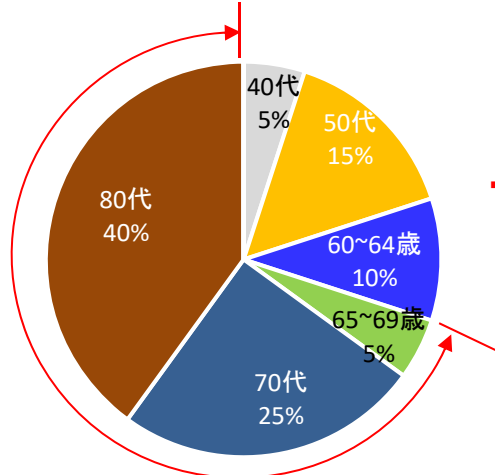
【災害別死者数(45名)】



・屋外と比べて、
土砂災害による
被災が多い

屋外
(20名)

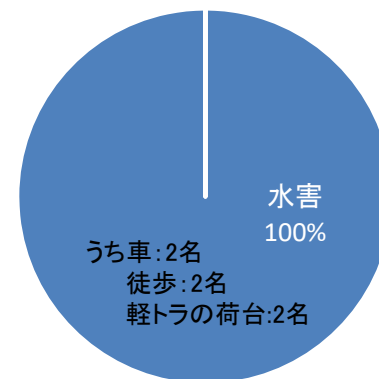
【年代別死者数(20名)】



・高齢者の
比率が高い。

65歳以上の
割合約**70%**

【災害別死者数(20名)】



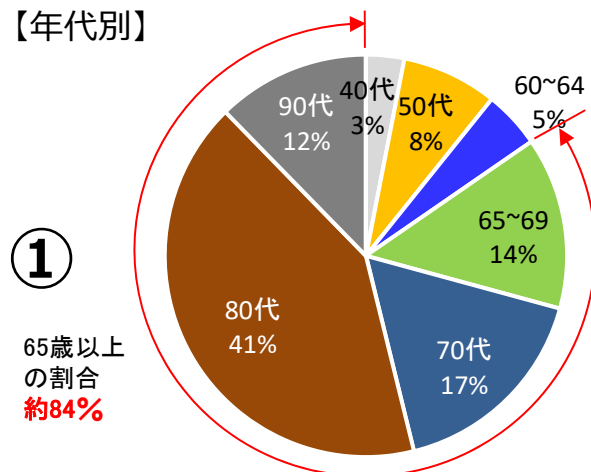
・屋内に比べ、
水害による
被災が多い

「令和2年7月豪雨(熊本県のみ)」と「令和元年台風第19号※2」との比較

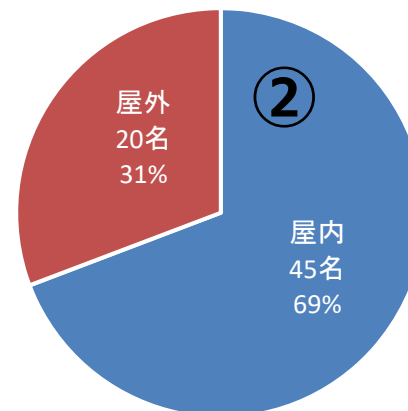
○令和2年7月豪雨による熊本県での被害は、令和元年台風第19号と比べても、①65歳以上の死者の割合が高い。
②屋内での死者の割合が高い。

令和2年7月豪雨：死者65人

【年代別】

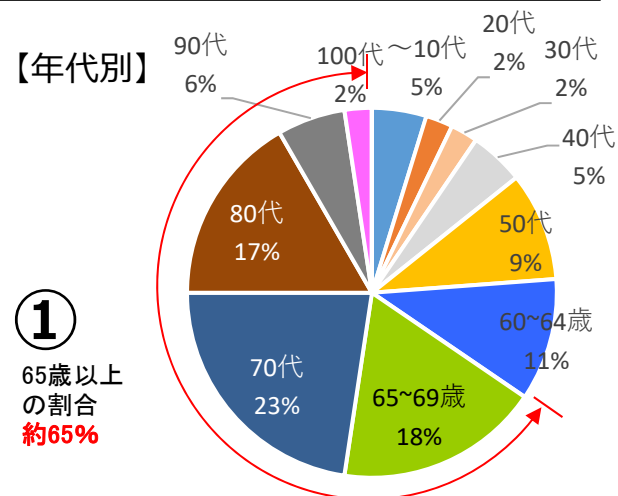


【被災場所別死者数（65名）】

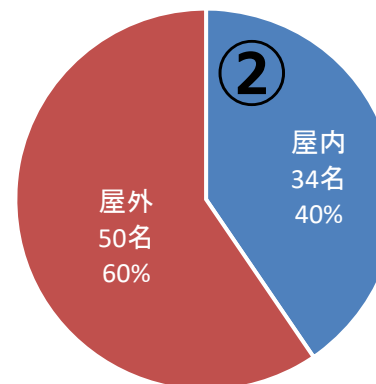


令和元年台風第19号：死者84人（災害関連死を除く）

【年代別】



【被災場所別死者数（84名）】



※内閣府で報道を元に整理

※2 令和元年台風第19号等による災害からの避難に関するワーキンググループ(第1回)資料より